

## 第1回精華町町民健康づくり推進協議会 議事摘録

### ■日時

令和5年11月6日（月）14時から15時30分まで

### ■場所

精華町役場 庁舎1階 図書館集会室

### ■出席委員

- ・東 あかね 会長
- ・山本 正來 副会長
- ・細川 暢子 委員
- ・岸田 秀樹 委員
- ・内田 裕也 委員
- ・本部 真理子 委員
- ・宮本 潤子 委員
- ・野澤 知子 委員
- ・北 安代 委員（代理 藤田 圭子 氏）
- ・堀口 紀代美 委員
- ・大田 梨沙 委員
- ・鈴木 圭吾 委員
- ・松浦 寛二 委員
- ・久古 朋子 委員

### ■欠席委員

- ・桃井 秀幸 委員

### ■傍聴者

なし

### ■内容

#### 1. 開会

#### 2. 挨拶 健康福祉環境部長

岩前健康福祉環境部長

- 本日は令和4年度の進捗状況及び令和5年度の新規事業等の報告とともに、令和6

年度の保健事業の実施計画に活かすため、委員の皆様から積極的なご意見ご提案をいただきますようお願いいたします。

#### 事務局

- 「精華町町民健康づくり推進協議会公開要領」第2条に基づき非開示とする場合を除いて原則公開となる。
- 会議要旨については、個人情報等公開すべきでないと思われる内容を除き、町のホームページ上で公表する。
- 会議録要旨については、同要領第4条に会議終了後、事務局において作成し、修正箇所等を委員の皆様を確認していただいた後で、公開する。

### 3. 議事

#### (1) 令和4年度健康増進計画進捗状況について

- ①重点的取組に対する進捗状況について
- ②基本目標の進捗状況について

#### (2) 令和5年度新規事業等について

#### 事務局

重点的取組に対する進捗状況及び基本目標の進捗状況については、重複する項目が多いため、含めて概要説明。〔資料3、4、5〕

- 重点的取組に対する実施状況「重点課題1：生活習慣病予防の取組」について概要説明。〔資料6〕
- 重点的取組に対する実施状況「重点課題2：つながりを意識した子育て力の強化」について概要説明。〔資料7〕
- 重点的取組に対する実施状況「重点課題3：住民参加・参画型健康づくりの推進」について概要説明
- その他、令和5年度新規事業等について概要説明。〔資料8、9、10〕

#### (3) 意見交換

#### 東会長

- ただ今、事務局より計画の進捗状況についての報告がありました。これについて、ご意見や感想などを皆様からお願いします。

#### 山本副会長

- せいか365健康ポイント事業のアプリ版について、高齢者にとってはスマホアプリは難しく、使えない人も多いのではないかと思います。

#### 事務局

- 現行では、カード版とアプリ版の両方を利用できるようにしています。カード版が約3,500名、アプリ版は令和5年6月に開始したところですが、すでに約700

名の方が登録しています。アプリ版の登録が難しいという方には、窓口等で登録手続や使い方を説明し、サポートしています。

#### 宮本委員

- 今年度、特定健診の集団健診を受診したところ、結果が今年度分しか出ておらず、過去の受診結果の表示がありませんでした。過去の結果が載っていると、経年変化が分かりやすく良いと思います。
- JR 祝園駅と近鉄新祝園駅の東西連絡通路の掲示板に掲示物が雑多に掲示されており、必要な情報を拾いにくいと感じます。また、町内商業施設に町の掲示板がありますが、集客の少ない場所に設置してあるため、もっと町民の目を引く場所に掲示するなど、町の健康情報を広く発信する工夫が必要と考えます。
- 京都府の女性の健康寿命は全国で最下位となっていますが、このことについて町ではどのように考えているか、お伺いしたいです。

#### 事務局

- 特定健診の結果表示については、個別健診は京都府医師会の統一した結果様式となっているため、当該年度のみ表記となり、変更は難しい状況です。集団健診については、今年度は長年委託していた業者から変更となり過去歴を表示することができませんでした。

#### 東会長

- 委託業者が変わると経年結果を表示できなくなるということは私も経験済みです。受診者自らが、健診結果を経年で管理し、自身で推移を把握するということが大切ですね。

#### 事務局

- 駅東西連絡通路については、1日1万人近くの往来があると聞いており、有効な掲示場所であると認識しています。整理された掲示スペースもありますが、雑多な部分も見受けられますので、見やすい掲示になるよう、今回のご意見について、担当課と共有します。
- 商業施設の掲示スペースについては、民間事業者の協力の下、スペースをお借りしているため町の希望だけでは難しい状況があります。令和4年度は、せいかガーデンシティ2階のエスカレーター横の往来の多いスペースに、新たに掲示場所を追加しております。

#### 東会長

- 健康寿命のご質問についてですが、健康寿命の算出方法は2種類あります。1つ目は、客観的な数字から算出する方法で、介護保険（要介護2以上）認定者数から算出する方法です。京都府は独自にこの方法で算出しています。2つ目は、国民生活基礎調査という国が実施している調査で、「健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」という質問に対して、「ある」と回答した年齢から算出する方法です。国の調査方法で算出した健康寿命において、京都府の女性は全国47位（2019年度）となっ

ています。要因について、京都府に確認しましたが、京都府でも明確な答えが出ていないようです。

#### 細川委員

●国の調査項目には、腰痛や肩こりの有無といった質問も含まれており、主観的な捉え方に地域性があるのかもしれませんが。

#### 大田委員

●子育て支援について、初産の時は全てが初めてで不安で、特に他者とのつながりが少なかったと感じています。それに比べ、本日の報告から、妊娠期から子育て期の支援が充実したと感じました。今後は、女性が1人で子育てを全てしないといけないような状況にならず、男性も担って当たり前になるように、若い世代に子育ての考え方や支援の方向が広がればよいと考えます。

●せいか365ポイント事業については、カードを携帯する手間が省けるため、アプリ版を利用しています。目標歩数を達成すると、京町セイカちゃんが褒めてくれるので、歩く励みになっています。若い世代の人には、アプリは手軽で利用しやすいのではないかと思います。また、精華町の健康寿命の延伸にも貢献できるのではと感じています。

#### 細川委員

●精華町は、健康づくりの取組や防災訓練での災害医療救護訓練の実施など、保健医療分野の様々な取組をしていると感じています。山城南保健所の取組としましては、新型コロナウイルスによって中断していた活動を、今年度から徐々に再開しています。今後は市町村と協力して、病気になる前の予防や支援に力を入れていきたいと考えています。

#### 岸田委員

●集団健診の受診者数の受診受入人数は、資料6の人数が上限数なのか、あるいはまだ余裕があるのかを教えてください。

#### 事務局

●集団健診の受け入れ人数には余裕がある状況ですが、4年間実施できなかった間に、医療機関での個別健診が定着された方もいるのではないかと考えています。受診機会を逃した方を対象に令和6年1月の2日間、再実施を予定しています。現在、未受診者に対して、回覧やLINE等で啓発を実施し、申込を受け付けている段階です。

#### 岸田委員

●今後さらに受診者数の増加を図るため、次年度以降は集団健診の実施期間を増やすことを検討してはいかがでしょうか。

#### 事務局

●受診期間の延長も方法の1つですが、受診勧奨・再勧奨が受診率向上に効果があると言われております。ご意見を参考に次年度以降の実施について、今後検討してまいります。

#### 内田委員

- 資料5から、お口の健康の重要性や予防歯科については、概ね改善していることが分かります。その中で、「歯肉に所見を有する者の割合（壮年後期）」のみ悪化しています。この世代が歯科健診や歯科受診をしやすい環境整備が必要だと考えます。
- 歯科部門の取組としては、令和元年度以来4年ぶりにせいか祭りで「歯のひろば」を再開することとなりました。多くの方に来ていただき、啓発をしていきたいと考えています。
- 令和3年度から75歳を対象に後期高齢者歯科健診を開始しました。初年度に比べて、今年度は受診者数が少ないように感じますので、啓発を強化する必要があると思います。

#### 東会長

- 8020運動に加え、最近、「6024運動」が提唱されているようですね。

#### 内田委員

- 8020運動は一定の効果が出ていますが、達成率50%を超えて以降伸び悩んでいます。国も予防歯科に力を入れており、国民皆歯科健診の導入に向けて動き出しています。

#### 本部委員

- 民生児童委員と、健康づくり・介護予防サポーター「すてき65メイト」のメンバーとして活動しています。平均寿命と健康寿命の差が大きいことについては、日頃から気にかけて、活動に取り組んでいます。
- 桜が丘地区に居住しています。アルプラザ木津で結果相談会をしているのは知りませんでした。役場までは遠いため、桜が丘や山田地区の住民を考慮し、健（検）診などの事業を近場でしていただけるのは嬉しいです。

#### 野澤委員

- 食生活改善推進員の活動で、本日の午前中は精華南中学校で調理実習をしてまいりました。令和4年度から徐々に料理教室を再開し、「男性の料理教室」などは好評をいただいています。
- 現在、食生活改善推進員の会員は32名ですが、家族の介護中の方や仕事をしながら活動している方、会員自身の高齢化も進んでいます。資料9にありますとおり、11月中旬から新会員の養成講座を開催予定ですが、本日時点で申込6名と低調です。けれども、6名中、男性からの申込が2名あり、うれしく思っています。引き続き募集中のため、委員の皆様のお知り合いの方にも申込の勧奨をお願いします。

#### 久古委員

- せいか365プロジェクト「Let's DIY」に所属しています。令和4年度に参画メンバーが2名増え、現在7名で活動しています。活動スペースが狭いため、参画者を大幅に増やすことは難しいですが、定期的にワークショップを開催し、手作りの楽しさを広める活動をしています。知り合い伝いに声掛けして参加される場合が

多く、今後どのように周知していくか手探りの状況です。

- 資料10「2023健康・スポーツ交流フェスティバル」については、イベントの実施そのものを知らなかったため、どのように周知されたのか教えていただきたいです。

#### 事務局

- 「2023健康・スポーツ交流フェスティバル」については、保育所と小学校へのちらし配布及び広報誌で周知しました。令和元年度以来4年ぶりの開催で来場者数も予測がつかない状況でしたが、参加者から好評の声を頂くことができました。次年度からさらに幅広く周知をしていきたいと考えます。

#### 松浦委員

- せいか365プロジェクト「いつも野菜カフェレストラン」と健康づくり・介護予防サポーター「すてき65メイト」に所属しています。
- すてき65メイトのメンバーは現在120名で、町内の様々なイベントで握力測定などの体力測定を実施しており、「2023健康・スポーツ交流フェスティバル」でも実施したところでした。活動開始時の9年前は14か所のみだった「体操の居場所」が、現在は31箇所となっています。12月から新メンバーを増やすため、養成講座を開催しますので、委員の皆様のお知り合いの方にもお勧めしていただけると幸いです。

#### 鈴木委員

- 前職は食品メーカーに勤めておりましたが、退職後に食育基本法が制定された経過があり、実は、健康づくり推進協議会の委員に就任するまで「食育」という言葉は知りませんでした。委員になってから改めて前職の会社情報を調べると、食育についても様々な取組をしていることが分かりました。委員に就任したことで、「食育に関心がある者の割合」の上昇に役立てるのではないかと考えております。

#### 堀口委員

- せいか365プロジェクト「いちご☆体操プロジェクト」に所属しています。コロナ禍で長い間活動自粛が続いていましたが、今年度から「食育劇団もぐもぐ」と保育所・幼稚園での巡回公演を再開しました。子どもたちの笑顔を見ると自分たちも楽しくなり、元気をもらっています。
- 健康づくり・介護予防サポーター「すてき65メイト」にも所属しています。その中で感じていることは、「体操の居場所」に参加できる人は他の活動にも参加していますが、その反面、参加しない人は他の集まりにも全く参加しないということです。引きこもっている人の参加を促すことの難しさを感じています。
- 先日、健康推進課の小児科医師による健康講演会を聴講しました。子育て世代を対象にした内容でしたが、子育て世代の知人数名から、「申込したいが、午後の時間帯は参加しにくい」という声を聞きましたので、今後の参考にしていただきたいと思います。

藤田氏

- 特定健診結果相談会の食生活相談や高齢者サロンでフレイル予防講座を実施しています。サロンでは元気で健康寿命も高そうな高齢者が多くおられますが、参加者の多くが女性です。「栄養士の話だったら、ぜひ参加して聞いてみよう」と思ってもらい、男性にもサロンに参加してもらえるよう、自分たちのスキルを磨いていく必要があると感じました。

#### 4. 次回会議日程

次回日程：令和6年2月20日（火）午後2時開始（予定）

#### 5. 閉会